

講習の名称	【選択】ワークショップ型社会科で「深い学び」をつくる
講習の概要	「深い学び」とは、問題解決の文脈で学習者が知識を関連付け、新たな意味付けを生み出すことである。本講習では、ワークショップ型社会科を扱う。この授業システムは、子どもが自立的に知識を構造化するのを促す有力な手立ての1つである。なぜなら、学習者が試行錯誤する活動（思考）空間を設け、活動後に必ず「ふり返し」を書いて自分の言葉で思考を表現することを重視するからである。本講座では、受講者の授業レパトリーを拡充することを目的としたい。
担当講師	江間 史明（大学院教育実践研究科担当教授）
講習開設日	令和3年8月10日（火）
時間数	8:50～16:10（6時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	小白川キャンパス A1（基盤教育1）2階 125教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭，中学校教諭（社会），高等学校教諭（地歴，公民）
受講予定人数	14人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	持ち物： ノート，筆記用具， 学習指導要領解説（平成29年告示） 社会編（小中高いずれかの学校種のもの） 参考図書：奈須正裕・江間史明編著『教科の本質から迫るコンピテンシー・ベースの授業づくり』図書文化，2400円＋税 事前に第1章と第2章をお読みいただくと講習の理解が進みます。講習時には持参いただかなくても支障はありません。
評価基準	合格基準 ①全時間出席していること ②テストの得点が60点以上であること テストは論述式で，講習の最後に行います。
評価の観点	講習の内容をもとに，資質・能力ベースの社会科カリキュラムについて理解し，ワークショップ型授業のメリットとデメリットを実践に即して説明できることです。
その他特記事項	ワークショップ型授業の模擬体験や授業プランの開発を講習で行います。